



## 7/8、多様な性に YES! IDAHO メッセージ展を開催します!

毎年5月17日の IDAHOT(International Day Against Homophobia, Transphobia and Biphobia: LGBT 嫌悪に反対する国際デー)は、日本でも「多様な性に YES の日」という記念日になっており、様々な催しが行われています。

スクランブルエッグでは、青森インターナショナル LGBT フィルムフェスティバルさんとコラボして、IDAHOT にちなんで集められた全国各地からのメッセージを展示紹介する、「IDAHO メッセージ展」を開催します!

今年は会場変更に伴い、映画の上映会場内での展示になります。映画鑑賞とあわせてお立ち寄りください(\*^^\*) また、当日はスクランブルエッグのオリジナル応援グッズ(ハンドメイド)の展示販売も行いますよ!

みなさまのご来場をお待ちしております☆

※このイベントは、やっぱ愛ダホ! idaho-netの取り組みに賛同しています。

※イベント名は、以前からの表記であるIDAHOとしています。



昨年のメッセージ展の様子

### <多様な性に YES! IDAHO メッセージ展>

■日程：7月8日(土) 12:30~17:30

■会場：バル&カフェ チェアーズガーデン  
(青森市古川1丁目14-5 フクススポーツビル B1F)

■入場料：入場には「第12回青森インターナショナル LGBT フィルムフェスティバル」のチケットが必要です。

詳しくは下記へ!

## 第12回青森インターナショナルLGBT フィルムフェスティバル

■日程：7月8日(土)

13:00~

■会場：バル&カフェ

チェアーズガーデン  
(青森市古川1丁目14-5  
フクススポーツビル B1F)

■チケット(全席自由席)

	1日通し券	1プログラム券
前売り	¥2,200	¥1,100
当日	¥2,700	¥1,300
学割	¥1,800	—

■上映プログラム

- ①13:00~14:15 『ハイヒール革命!』
- ②14:30~15:20 日本短編作品集  
『あかぎれ』  
『私は渦の底から』
- ③15:35~17:00 『どうしても触れたくない』

チケットのお求めは、青森松竹アムゼ、成田本店しんまち店 1F プレイガイド、バル&カフェ チェアーズガーデン、または青森インターナショナル LGBT フィルムフェスティバル実行委員会へお問い合わせください→ <http://aomori-lgbtff.org/contacthtml>

# ここで生きる

## ～多様な“性”と“生”～

今回は、青森県内にお住まいのレズビアンカップル、NさんとMさんにインタビューに伺いました。が、盛りだくさんでなんと時間切れ！（汗）今回はNさんのお話メインで、Mさんには後日追加取材の予定です☆

— 早速ですが、自分がレズビアンだなんて気付いたのいつ頃でしたか？

中学じゃないかなあ…小学校の頃から女の子は気になってたけども、まあみんなそんなもんなのかなって思ってた。中学校に入ってみんな男子と付き合うとかもあるんだけど、わたしは男子と付き合うとかいう気持ちもなく…一応でも、ノリで付き合った男子もいたんだけども、なんか女子を好きっていう思いと違うな～と思って。

その頃雑誌とかで色々情報が入ってきて、「あ、これってレズなんだ」って気付いたって感じ。

— あ～、その頃手に入る情報って「レズ」って言葉だけでしたよね？

そう、そう！ しかもなんかエロい雑誌とかさ。わたしいかがわしい人間なんだ、これやばい人種だって思ったよね。だから周りにも打ち明けなかったね、悪いものかしか思ってたから…。



— 初めて同性とお付き合いしたのはいつ頃で、どんな感じだったんですか？

高校卒業してから、専門学校の同級生と。精神的に弱いところがある子で、頼れるものには頼りたい、みたいな。だから付き合えたんじゃないかな～と思う。

その後しばらくは男性と付き合ってたんだけど、本当は好きだなんて思う女の人がいってたよね。でもその人とは付き合えなくて。そうしてるうちに彼氏とも別れ、26、7くらいに、自分に嘘ついて男性と付き合ってもお互い傷つくだけだし、うまくいかないっていうのもわかったし、ちゃんと愛し愛され

る関係じゃないとわたしは成長できないなって思ったんだよね。だから、自分の気持ちに素直に生きてみようって。

それで、その頃はもうネットが広まってパソコンも使えたから、ネットで調べて。そこで出会った人とどんどん会ってたんだよね。かなり積極的に会いたって言うから、やばい女だって思われてた(笑)自分を知りたかったんだよね。

— 自分もネット使い始めた時期ですね。「こんなにいた！みんな結構フツーだ！」って思いました(笑)

そうそう、安心したよね。同じような友達にも出会えたし。話が合う人がいて、付き合ったりもして。何人かと付き合ったり別れたりしたけど、(今のパートナーの)Mと出会ったんだよね。付き合ってから7年目です。



— Mさんとの出会ったきっかけは？

わたしが友達と一緒に、セク問わず参加できるクラブイベントを毎年やってたんだけど、色んな人を呼び込みたくて、自分でブログ書いてイベントを紹介しつつ、色んなサイトを訪問してたんだよね。その時に、おもしろい日記書くんがいるな～と思って、連絡とるようになって。それがMだった。

この人好きだなんて思ったけども、東京の人で、とりあえず会ってみなきゃわからないと思って。出会って1ヶ月くらいで会いに行き、そこで付き合いってことになった。

— 好きになるのに時間って関係ないですよ(笑)

関係ない関係ない(笑)色々経験もあるから、大体こういう人が合うなっていうのもわかってたし。

Mと付き合うことになってから、3年遠距離して。二人で暮らすようになってから今年4年だね～。

## 一 Nさんがスタッフをされていたクラブイベントのことも聞かせてもらえますか？

わたし仕事で年配の方とお話する機会が結構あったんだけど、おばあさんたちがさ、自分らしく生きられない時代だったんだよね。夫中心で自分を押し殺しながら生きてる。で、夫が死んだ時に、自分はどうして生きていたらいいかわからないって精神的に病んじゃう人が多くて。ああ、こうやって自分押し殺すと病んでしまうんだなって思ったんだよね。

そういう人っていうのはきっと、うちらレズビアンの中には多いんだろうなって思ってる。これはいかにぞ、集場所を作ろう、と。

その頃友達が、何かやりたいね、一緒にやろうかって誘ってくれて、イベントが始まったのが10年くらい前かな。最初はバーベキューとかゲイの人と一緒にやったりして。だんだん来てくれる人が増えてきて。



## 一 僕も何度かお邪魔させていただきましたが、2014年で無期限休止に入ったんですね…

イベントではわたしがご飯作って出してたんだけど、ご飯作るの疲れてしまって(笑)それに、もうそろそろネットとかみんな使いこなして、自由に会っていきんだよね。出会える場所も増えてきたし、わたしも歳だし、もうやめよかって。

でも、よくインドである「方向性の違い」？ それが一番辛かったんじゃないかな。スタッフの中ではクラブイベントとしてやってほしいという意見もあるんだけど、わたし自身はもうちょっと交流を深めたいって。レズビアンの人がどうやって生きて、何歳くらいまで自分らしく生きているのかとか、なんか色々な年齢層で集まってもらって、若い子にも感じてほしかったんだよね。こういう風に生きていいんだ、自分でいいんだって。そういう場所でありたかった。

## 一 Nさん自身のお話に戻りますが、自分のセクのこと一番しんどかった時期はいつ頃ですか？

初めて同性と付き合った頃かな。18、9あたり。病んでる子

の弱みにつけ込むようにして会おうくらいでしか生きていけないのかな、相手できないのかなって。わたし幸せになれんな、これ、みたいな。わたしこうやって生きていくなんだ、みたいな。辛かったな…。悩んだから男子とも付き合ってたし。親へのカミングアウトとかもみんな悩んだらうけど。

## 一 親にはカミングアウトされてますか？

亡くなった母には言えなかったんだよね。父には母が亡くなってから言ったんだけど、Mと付き合ってる、これから一緒に住む、ゆくゆくは籍を一緒にしたいっていう思いがあったから話したんだよね。

最初は拒否してたの。でも父も、拒否することで娘が自分から離れてしまうことが怖いから、受け入れるしかない、みたいな(笑)今はMとも一緒にご飯食べたりとか、受け入れてくれて。

時がくれば理解し合えるんだよ。ちゃんと生活してたり、礼儀とかもちゃんとしてたりとか、当り前のことができるようであれば親も安心していき、職場の人にも受け入れてもらえる。大事なものは人間性だと思ってる。

## 一 最後に、今回インタビューを受けてくださった理由と、思いをお聞かせください

生まれてきた理由…って、自分らしく生きることがすごくポイントだと思うんだよね。そこから生まれてきた目的に繋がっていくと思うから。

色々な事があるかもしれないけど自分らしさを忘れないでほしいし、そうやって生きているわたしのことが、誰かの力になればいいなって…生きられるよ、大丈夫だよって。

過去の自分にも伝えたいんだと思う。大丈夫なんだよ、自分信じてって。



## 一 Nさん、貴重なお話をありがとうございました！

Nさんのお話を伺いながら、「自分らしく生きることは、自分のいのちと向き合うことなのかも」と考えたりしました。簡単ではない時もたくさんあるけれど、自分らしさを大切にしたいと改めて思いました。

(創)

## 東京レインボープライド体験記



2017年5月7日曜日。東京レインボープライドに参加して来ました。受付は参加するフロート(先導する山車のような車)毎に分かれており、中には行列が出来ている所も。プラスバンド・同性婚法制化などの目的別、金融・ITといった企業連合など、全部で23ものフロートがありました。

受付を済ませ、ブースを見て回ります。高名な写真

家、レスリー・キーに写真を撮ってもらえるブースを発見。但し、ブライダルフォト。相手が必要ってこと？事実上の門前払いを食らい、通り過ぎる私…

いよいよパレードの集合時間。フロート毎に整列し、待機するのですが…待ち時間の長いこと！ねぶた祭りの出陣を待ちながら、太鼓や笛吹いている状況に似ていました。

ようやく出発。「ハッピープライド！」と声を上げながら、路上の皆さんとハイタッチ！ふと前を見ると、男性カップルが手を繋いでいます。

「どうかその手を離さないで」

何度もそう呟いた、約一時間のパレードでした。

(ゆーだい)

### オリジナル動画

#### 「今、ここで。～明日につなぐ物語～」

宮城県で活動している「てんでん宮城」と昨年からおっそり？制作していたオリジナル動画を、YouTubeで公開しています！

素材の大部分は、メンバーや友人にお願いして提供いただいた画像・動画です。

テレビやネットではたくさん関連ニュースやイベントを見聞きするけど、自分の生活とはいまちリンクしない…クローゼットとして普段暮らしながら、見ているもの、感じていること、生きている時間。そういうものを表現したい。この企画は、そんな思いから始まりました。

たくさんの方に見ていただけると、とても嬉しいです！

Youtube→ <https://youtu.be/1R8M978fBV0>



### ☆☆☆ メルマガ登録受付中！！ ☆☆☆

スクランブルエッグでは、メールマガジンを時々発行しています！登録は無料です(^-)

「無理せず楽しく、自分達の生活を大事にしながら、できることをしてみよう！」というのがモットーの当たまご。イベント自体は年に2～3回程度ですが、開催のお知らせのメール等を配信させていただく予定です。

登録ご希望の方は、件名に「メルマガ希望」と入れて、[gochamazetamago@yahoo.co.jp](mailto:gochamazetamago@yahoo.co.jp) までご連絡くださいね！

### 【にじたまの主な設置場所】

青森県男女共同参画センター「アピオあおもり」／青森市民図書館／青森市男女共同参画プラザ「カダール」／弘前市立図書館／弘前市民参画センター／弘前大学／FMアップルウェーブ／藤崎町ふれあいずむ館／平川市文化センター／スポカルイン黒石／五所川原市立図書館／八戸市立図書館／八戸市図書館情報センター／八戸市市民活動サポートセンター「ふれあいセンターわいぐ」／十和田市民図書館／三沢市公会堂／むつ市立図書館